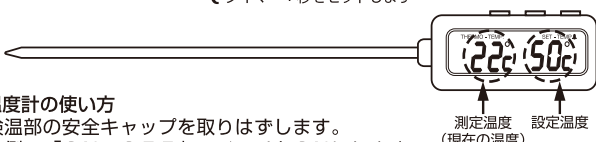
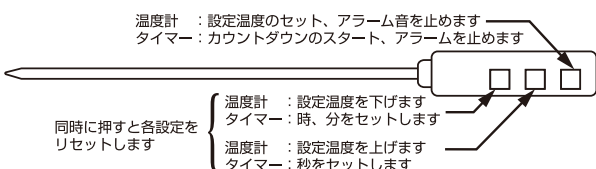
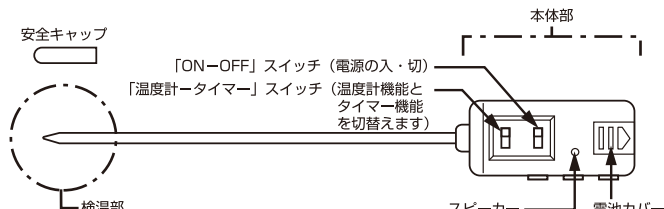


クッキング温度計



温度計の使い方

1. 検温部の安全キャップを取りはずします。
2. 裏側の「ON-OFF」スイッチをONにします。
3. 「温度計-タイマー」スイッチを温度計にします。
4. ディスプレイの左側に現在の温度「THERMO-TEMP」、右側に設定温度「SET-TEMP」が表示されます。この温度計は測定温度が自分の入力した設定温度より高くなったとき、アラームが鳴る機能を持っています。
※測定される温度が表示範囲外の場合、その温度が高い場合「HI」、低い場合「L」と表示されます。
5. 設定温度は最初50°Cになっています。この設定温度を低くする場合には「DOWN」ボタンを、高くする場合には「UP」ボタンを押してください。それぞれ押し続けると数字が早く進みます。
6. 設定温度の入力を始めからやり直したいときは「DOWN」「UP」ボタンを同時に押してください。設定温度はリセットされ、最初の50°Cに戻ります。
7. アラームをセットする場合「セット」ボタンを押すと、「▲」マークが「☺」マークに変わり、アラームの待機状態になります。この状態で測定温度が設定温度より高くなるとアラームが鳴ります。
(※測定温度が設定温度よりも高い状態でアラームをセットすると、「セット」ボタンを押すと同時にアラームが鳴ります。)
8. 「セット」ボタンを押すとアラームは止まります。

タイマーの使い方

1. 「ON-OFF」スイッチをONにします。
2. 「温度計-タイマー」スイッチをタイマーにします。
3. 「時/分」ボタンで時間と分を入力します。分単位で設定し、60分を超えると1時間と表示されます。「秒」ボタンで秒を入力します。それぞれ押し続けると数字が早く進みます。
4. 「スタート/ストップ」ボタンを押すとカウントダウンが始まります。
5. セット時間になりますとアラームが鳴ります。
6. 「スタート/ストップ」ボタンを押しますとアラームは止まり、もとのセット時間になります。(リピート機能)
7. 表示を「0」にするには、カウントダウン中でも、ストップ時の場合でも「時/分」「秒」ボタンを同時に押します。

電池寿命

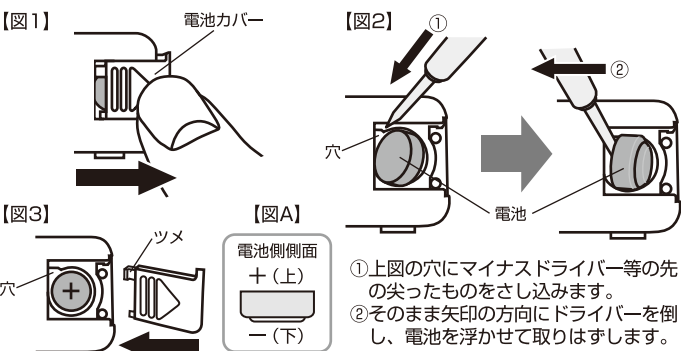
この温度計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、約1年間作動します。(1日30秒アラームを鳴らした場合)

※製品に組み込まれている電池は動作確認用電池ですので、電池寿命は短い場合があります。

※使用しない場合には電源の「ON-OFF」スイッチをOFFしてください。

電池交換

- 1) 本体裏面の電池カバーを矢印の方向に押しながら横へスライドさせ、取りはずします。(図1参照)
- 2) 古い電池を抜き取ります。このときマイナスドライバー等の先が尖ったものを使い、【図2】のようにして取り出してください。
- 3) 極性(+・-)を間違えないように新しい電池(LR44)を入れます。(+)を上に入れてください。(図A参照)
- 4) 電池カバーのツメを穴に合わせてから、電池カバーを矢印の方向にスライドさせて閉じます。(図3参照)
※電池の極性を間違えると液漏れ等が発生するおそれがありますのでご注意ください。
※電池セットが不完全だと正常に使用できない場合があります。
※電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。



製品仕様

表示方法	液晶デジタル 7桁
検温部の使用温度範囲	-30°C~+250°C
本体部の動作温度範囲	-5°C~+50°C
最大セット時間(タイマー)	99時間59分59秒
精度	0°C~+50°C±1°C その他の範囲±2°C
電池	LR44 (アルカリボタン電池)

製品についてのお願ひ事と注意

- 1) 本製品の検温部以外は洗剤につけたり、水洗いは絶対にしないでください。
- 2) 保管する際は、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 3) 本製品の使用可能な温度範囲は-30°C~250°Cです。この範囲以外の温度の計測は故障の原因になります。
- 4) 本体部は樹脂でできていますので直接炎に当たったり、高温になる場所に置かないでください。また、高温の油等を測定する場合には5分以上連続で使用しないでください。
- 5) 検温部は串状になっており、ケガをする危険があります。取り扱いには十分ご注意ください。使用しない場合は必ず先端部分にキャップをはめてください。
- 6) 高温、多湿や磁気の多い場所に置かないで下さい。
- 7) 加熱、分解、充電、改造、火中でのご使用は避けてください。
- 8) 落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。

⚠電池についての警告

- ショートさせたり、分解、加熱はしないでください。また、火中に投げないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

⚠電池についてのご注意

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。
- ※ 電池の極性(+・-)を正しく入れてください。
 - ※ 使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
 - ※ 長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。